

## ■ サーバーの MIFES をクライアントから使用する方法について

「MIFES 10 Enterprise ライセンス」および「MIFES 10 Educational ライセンス」では、共有できるコンピューター（以下「サーバー」）の MIFES を、ネットワークを利用して複数のコンピューター（以下「クライアント」）から使用することができます。

以下の2つのタイプの方法がありますので、どちらかの方法をご利用ください。

なお、MIFES を各コンピューターにインストールして使用する場合は、この紙面の情報は関係ありません。

### 【タイプ1】 ターミナルサービスを利用して MIFES を使用する方法

リモートデスクトップや RemoteApp などのターミナルサービス機能があるサーバーに MIFES をインストールして、クライアントからサーバーにログインしたユーザーが MIFES を使用する一般的な方法です。

MIFES 関連のファイルはすべてサーバーにありますので、クライアント PC を特定しません。また、ログインユーザーごとにカスタマイズ情報を別にすることも可能です。

MIFES を通常のコンピューターと同じようにサーバーにインストールしてご利用ください。

サーバー側の設定や RemoteApp でのクライアントへの提供方法などは、ターミナルサービスのヘルプなどをご確認の上、ご利用ください。

※ ログインユーザーの権限によっては、「設定ウィザード」のシステムに設定する機能（拡張子の関連付け、常駐設定など）を利用できない場合があります。

#### <カスタマイズ情報をログインユーザーで別にする方法>

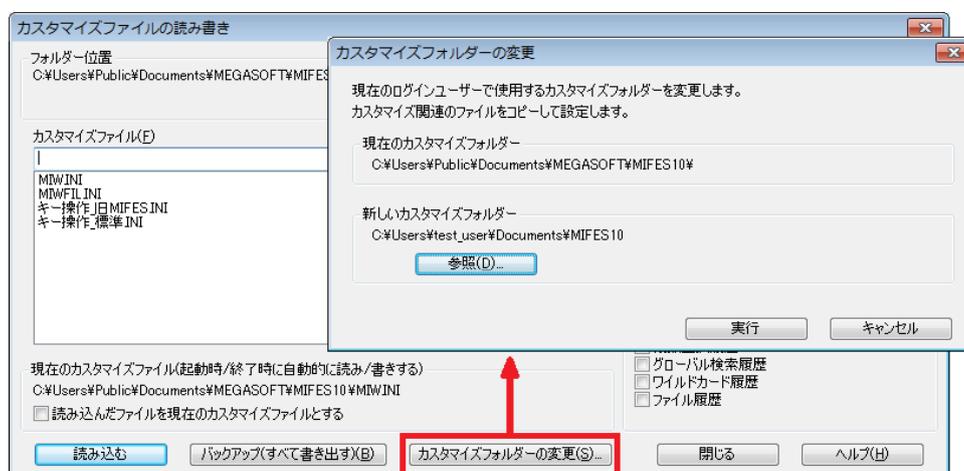
MIFES の「カスタマイズフォルダー」（カスタマイズ関連のファイルがあるフォルダー）は、インストール時に「共有ドキュメント」に作成され、ログインユーザーで共通になります。

このカスタマイズフォルダーをログインユーザーで別にすることができます。

ログインユーザーごとに、以下の手順で設定してください。

- 1) クライアントからサーバーにログインして、MIFES を起動し、【設定】-【カスタマイズファイルの読み書き】を実行します。
- 2) 「カスタマイズファイルの読み書き」ダイアログボックスの下段にある「カスタマイズフォルダーの変更」を実行します。
- 3) 「カスタマイズフォルダーの変更」（以下の画面）が起動しますので、新しいカスタマイズフォルダーを指定して実行します。
- 4) カスタマイズ関連のファイルがコピーされ、そのフォルダー位置の情報がサーバー側のカレントユーザーのレジストリに設定されます。

以降、このログインユーザーが MIFES を起動すると、指定したカスタマイズフォルダーが使用されます。



## 【タイプ 2】サーバーの共有できるフォルダーにある MIFES を直接実行する方法

ターミナルサービス機能を利用せずに、サーバーにある MIFES のプログラムを直接クライアント PC から実行する方法です。「MIFES クライアント設定」機能で、クライアント側にカスタマイズフォルダーを作成し、クライアントごとにカスタマイズ情報が別になります。

なお、MIFES のプログラムで同時起動数を確認、制限する仕組みは特にありません。

### <サーバー側の準備>

以下の手順で、サーバーの共有できるフォルダーに MIFES のすべてのファイルをまとめます。

- 1) MIFES を任意のコンピューター (MIFES を共有で利用するサーバー以外) にインストールします。「プログラムフォルダー」と「カスタマイズフォルダー」(デフォルトの位置は下記) が作成されます。
- 2) サーバーに共有できるフォルダーを 1 つ作成します。フォルダーの位置、名前に特に決まりはありません。
- 3) 手順 1) のコンピューターの「プログラムフォルダー」と「カスタマイズフォルダー」のすべてのファイルを、手順 2) で作成したフォルダーにコピーします。

以上です。なお、インストールしたコンピューターで MIFES を使用しない場合は、サーバー側の準備が終了後アンインストールしてください。

**「プログラムフォルダー」** MIFES のプログラム関連のファイルがあるフォルダー。デフォルトは以下です。

64bitOS の場合: C:\Program Files (x86)\MIFES10

32bitOS の場合: C:\Program Files\MIFES10

**「カスタマイズフォルダー」** MIFES のカスタマイズ関連のファイルがあるフォルダー。デフォルトは以下です。

Windows 8.1、8、7、Vista、Server 2012、Server 2008 の場合: C:\Users\%Public%\Documents\MEGASOFT\MIFES10

Windows XP、Server 2003 の場合: C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\MIFES10

### <クライアント側の設定方法>

初回起動時に 1 度だけ、以下の手順で設定をしてください。

- 1) クライアントからサーバーにある MIFES のプログラム (「MIW.EXE」) を実行し、MIFES を起動します。  
最初の起動時のみ「MIFES クライアント設定」(下の画面) が表示されます。  
カスタマイズ関連のファイルを保存する「クライアントのカスタマイズフォルダー」を指定して [実行] をクリックします。
- 2) <サーバー側の準備> で用意したフォルダーの中のカスタマイズ関連のファイルだけが、「クライアントのカスタマイズフォルダー」にコピーされ、そのフォルダー位置の情報がクライアント側のレジストリ (ログインユーザーのレジストリ) に設定されます。

以降、このクライアントから MIFES を起動すると、指定したカスタマイズフォルダーが使用されます。

※クライアントからサーバーにある MIFES の「設定ウィザード」 (「OPTWIZ.exe」) を実行して、拡張子の関連付け、エクスプローラの右クリックメニューへの追加、タスクトレイへの常駐、Internet Explorer ソース表示エディタなどの設定も可能です。

